

2017 Japan National Team Report ”選手”



報告者	海陽海洋クラブ 学年 中学3年 氏名 高山 巧太郎		
大会名	IODA 北米選手権		
開催地	カナダ(トロント)		
大会期間	2017年6月25日~7月2日		
セールNo	JPN3260	最終順位	119位/178艇

- 帰国後1ヶ月以内に、チームでまとめた上、海外派遣担当までメールにて送付して下さい
- JODA理事会にて確認の後、ホームページに公開します
- 記入時の注意点
 1. このレポートは今後海外派遣レースに参加する選手、役員また日本のジュニアのための資料です
 2. なるべく詳細に記入して下さい
 3. 大会本部や運営、他国や他国選手また特定の個人を批判するような記述はしないで下さい
- 写真資料について
 1. このレポートを補足する資料として必要な場合は、文中に貼り付けて下さい
 2. 他国のOP艇を接近して撮影することを禁止します

気温、水温、ウエアについて	気温はあまり低くなかったが、風や水が冷たかったので、水着だけではなく、ウェットスーツを着た。
海面(湖面)の特徴や風の傾向	湖なので波が小さい。雨雲が通ることがあって、風の振れがすごかった。
セッティングで注意したこと	ガラミやロープが切れそうじゃないかチェックした。 アップバックの圧確認。船に傷がついていないかチェック。 セールにしわを残さないようにした。
セーリングで注意したこと	自分のペースを乱さず、いつも通りのセーリングをする。 しかし、結果としてスタート・回航・コース取りもすべてうまくいかなかった。
海上で練習したこと	アメリカチームとスベリの練習をした。 カナダチームとコース練習をした。

実際のスベリはどうでしたか？	同じような体格の外国人よりスピードが無かった。 セールトリムや体の動かし方が外国人は巧かった。
スタートは、どうでしたか？	スタートラインが見られず、リコールをたくさん出した。 霧で見通しがうまく取れなかった。スタートでギリギリを攻めすぎた。
コース戦略はどうでしたか？	風の振れを意識してタックをしていた。 艇団がどちらに向かったか見るようにした。
自分より上位の選手との違いは？	上位の選手はスタートを失敗した時の対応や風の振れを読むのが早かった。
国内の練習で役立ったこと	プロテストの練習と下マーク回航の練習。 チーム練習でルールを覚えたこと。
国内の練習で足りなかったこと	スタートラインの見極め。 コース取りや海面を見ること。
印象に残った外国選手は？	ステファン・ペーカー(USA) コース戦略などが巧かった。
行く前と、行ってからで違ったことはありませんでしたか？	食事が合わなくて体調が悪くなった。 英語が少し話せるようになった。
今後の課題と目標は？	スタートラインをギリギリじゃなく、余裕を持ってスタートする。 海面のブローや潮を見極められるようにする。 体調不良にならないように対策をすること。
JODAへの要望	ありません。
その他	成績が目標とかけ離れていた。悔しかった。

ご協力ありがとうございました

JODA 海外派遣委員会